

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	第3ぼっぼハウス		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 15日		2025年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16人	(回答者数) 12人
○従業者評価実施期間	2025年 10月 1日		2025年 10月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	中等部・高等部の利用児が多く、ライフステージの切り替えを見据えた将来の移行に向けた準備を大切にしています。	「職場見学や職場体験」の実施、その下調べや準備も行います。また、卒後を見据えて大切な「挨拶」や「相手に自分の気持ちを伝えること」など活動を通し日々取り組んでいます。	職場の体験や見学のできる企業を広げていきたいと考えています。
2	当法人では小学年から高校生まで統一した支援を行っています。同じ法人内ですが、学年が上がることで別の事業所に移動し3つの事業所を利用できます。	活動などは、難易度や内容をその年齢や特性に合ったものを提供しています。事業所が変わることで、支援場所と支援職員など環境も変わりたくさんの関わりや経験をすることが出来ます。また個別支援計画や支援方法などをしっかり事業所間で引継ぎ、本人が戸惑うことがないよう統一した支援をしています。	各事業所ごとにさらに明確な特色をもてるように取り組んでいます。3事業所が交流できる活動も増やしていきたいと思っています。
3	建物は、放課後等デイサービスを行うために建てられているので2階へ行くための階段はありますが、その他はバリアフリーで活動しやすいです。清潔で心地よく過ごせる環境です。	気持ちの切り替えや休憩ができるスペースもあり、まわりを気にせず静かに安心して見守ることが出来ます。	利用児ひとりひとりのその日の状態を把握し、個々に合った環境を提供していきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会や保護者同士の交流する機会がありません。	茶話会など定期的に行っていますが、就労している保護者が多く学校行事等が優先されるため参加者が少ないです。父母の会など交流も大切ですが、かえって負担にならないのか心配です。	保護者同士の交流会の時間設定を考えていきます。また、家族等の参加できる行事を行います。その際には保護者の皆さんに負担がないように配慮します。保護者の方が参加できる研修の情報提供を行っていきます。
2	児童館との交流や地域の他の子どもたちと活動する機会がありません。	交流する機会を求める方と求めない方とわかれますので、下校時間などを考えると難しい状況です。	長期休みのときに交流する機会が設定できればと思います。
3			